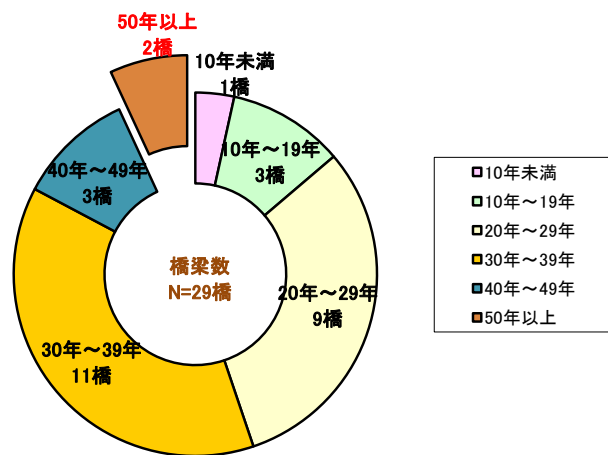


令和元年度 野辺地町管理橋梁点検結果

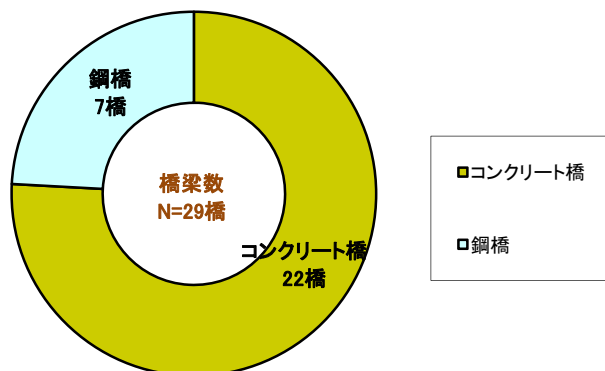
1. 点検実施橋梁

野辺地町が管理する橋梁について、経過年数及び橋種別の集計を図ー1 に示す。
このうち9橋について、令和元年度に橋梁定期点検を実施した。

- 架設後経過年数50年以上の橋梁は 2橋 現存する。（R2.4.1 現在）
- 橋種は全体の合計でコンクリート橋が22橋、鋼橋が7橋である。



架設後経過年数別の割合



構造形式別の割合

図 1ー1 野辺地町が管理する橋梁の内訳（令和2年4月1日現在）

2. 損傷状況

令和元年度に実施した橋梁9橋の損傷については以下の傾向が見られた

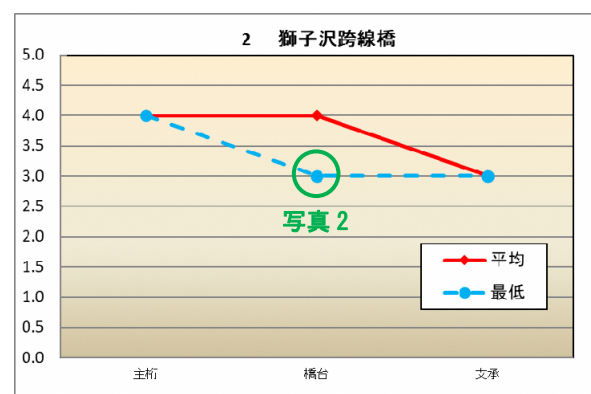
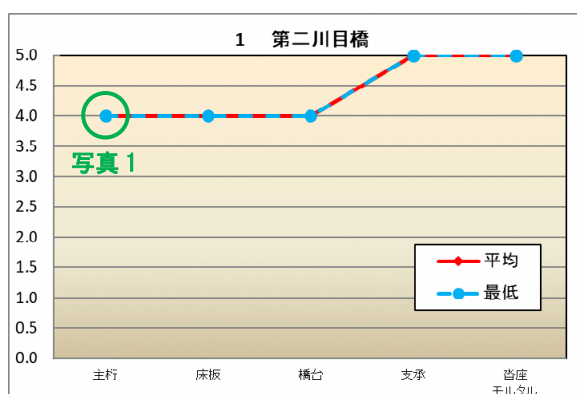
- 新田橋において、主桁に顕著なひび割れが見られた。
- 白岩橋において、沓座モルタルに破損が見られた。
- 川目橋において、主桁及び支承に錆が見られた。
- その他橋梁の主要部材には、極度に損傷・劣化の進行した要素は見られなかった。

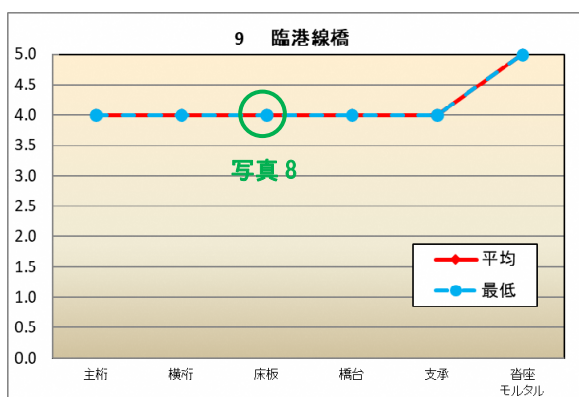
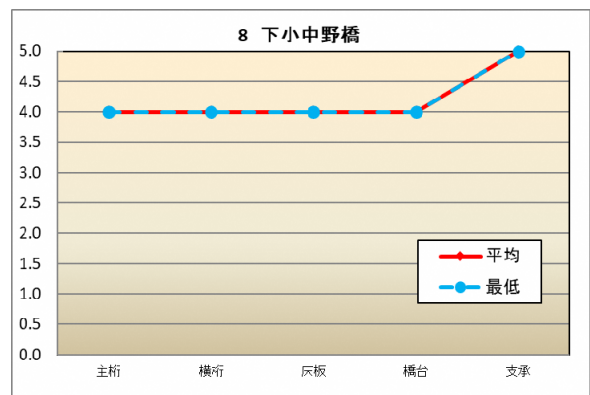
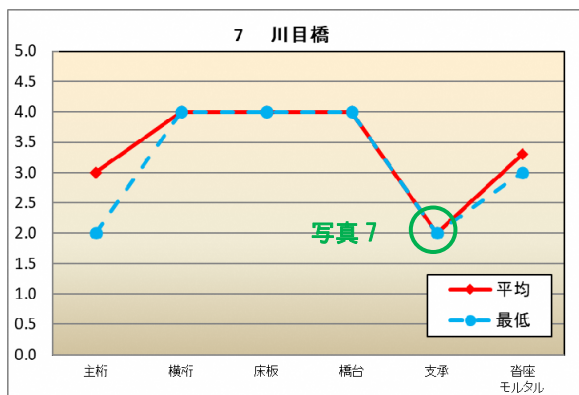
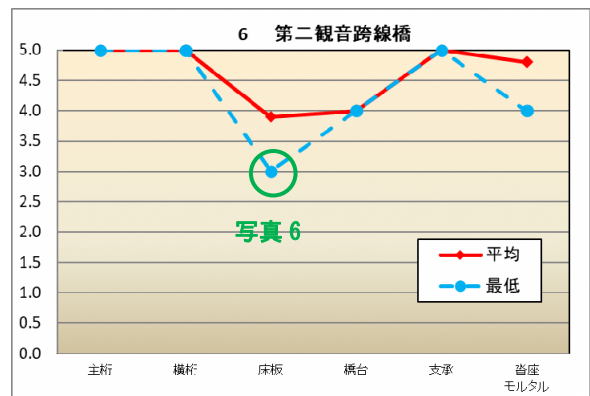
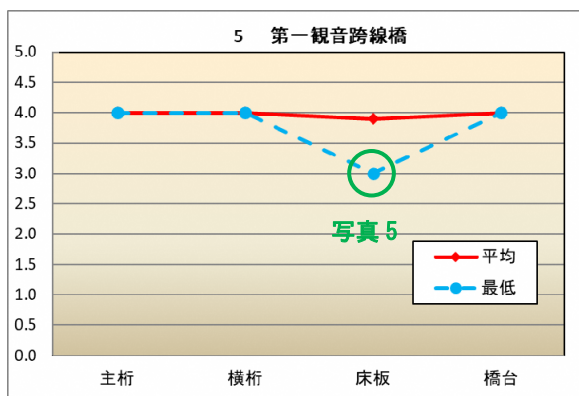
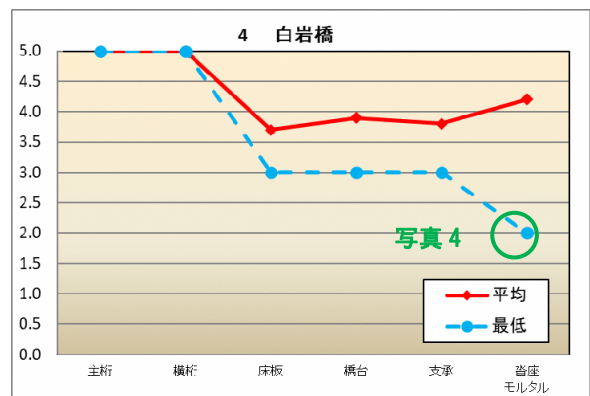
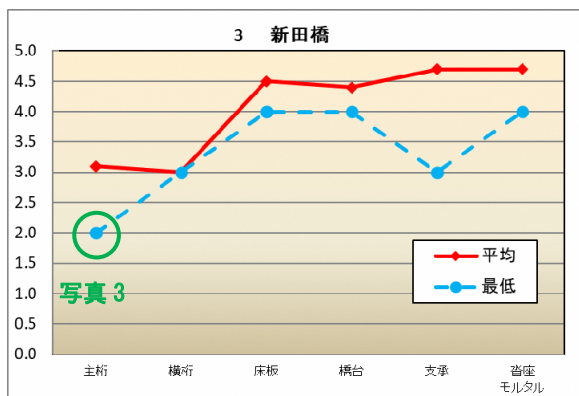
(1) コンクリート橋の劣化状況

点検結果による主要部材の健全度をまとめた表及びグラフを以下に示す。

表 2-1 部材別健全度一覧表（概要）

NO.	橋 種	橋梁名	径間	部材別健全度						
					主桁	横桁	床板	橋台	支承	沓座 モルタル
1	C	第二川目橋	1	平均 最低	4.0 4.0		4.0 4.0	4.0 4.0	5.0 5.0	5.0 5.0
2	C	獅子沢跨線橋	3	平均 最低	4.0 4.0			4.0 3.0	3.0 3.0	
3	C	新田橋	1	平均 最低	3.1 2.0	3.0 3.0	4.5 4.0	4.4 4.0	4.7 3.0	4.7 4.0
4	M	白岩橋	1	平均 最低	5.0 5.0	5.0 5.0	3.7 3.0	3.9 3.0	3.8 3.0	4.2 2.0
5	C	第一観音跨線橋	1	平均 最低	4.0 4.0	4.0 4.0	3.9 3.0	4.0 4.0		
6	M	第二観音跨線橋	1	平均 最低	5.0 5.0	5.0 5.0	3.9 3.0	4.0 4.0	5.0 5.0	4.8 4.0
7	M	川目橋	1	平均 最低	3.0 2.0	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	2.0 2.0	3.3 3.0
8	C	下小中野橋	1	平均 最低	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	5.0 5.0	
9	C	臨港線橋	1	平均 最低	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	4.0 4.0	5.0 5.0







第二川目橋

写真 1 主桁の損傷



獅子沢跨線橋

写真 2 橋台の損傷



新田橋

写真 3 主桁の損傷



白岩橋

写真 4 沓座モルタルの損傷



第一観音跨線橋

写真 5 床版の損傷



第二観音跨線橋

写真 6 床版の損傷



川目橋

写真 7 支承の損傷



臨港線橋

写真 8 床版の損傷

(2) その他部材の劣化状況まで

点検の結果、その他部材についての進行した劣化状況については以下の通りである。

- 新田橋・・・・・・・・・・防護柵の変形・腐食が見られる。(写真 9)
- 白岩橋・・・・・・・・・・添架物の変形が見られる。(写真 10)
- 第一観音跨線橋・・・・・・・・縁石の欠損が見られる。(写真 11)
- 下小中野橋・・・・・・・・排水管の腐食が見られる。(写真 12)



写真 9 防護柵の変形・腐食



写真 10 添架物の変形



写真 11 縁石の欠損



写真 12 排水管の腐食

3. 定期点検結果

道路橋定期点検要領（国土交通省道路局）に基づく、判定結果および判定区分を以下に示す。

表 3-1 道路橋定期点検要領に基づく判定結果

橋梁番号	橋梁名	上部構造			下部構造	支承部
		主桁	横桁	床版		
401001970	第二川目橋	I		I	I	I
401101539	獅子沢跨線橋	I			II	II
401101840	新田橋	III	II	I	I	II
401106843	白岩橋	I	I	II	II	II
401107944	第一観音跨線橋	I	I	II	I	
401107945	第二観音跨線橋	I	I	II	I	I
401404242	川目橋	III	I	I	I	III
401483541	下小中野橋	I	I	I	I	I
401499246	臨港線橋	I	I	I	I	I

表 3-2 道路橋定期点検要領による判定区分

区分	状態
I：健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II：予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III：早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV：緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。